



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.14

地域連携病院⑪「阿南共栄病院」

今回は、地域医療の発展に力をそそぐ阿南共栄病院を紹介します。

■ 南部の中核として地域に貢献

阿南共栄病院は安全で質の高い医療の提供により、常に地域に求められ信頼される病院を目指しています。診療面では糖尿病、消化器病の治療に力を入れると同時に、県南部の中核となる救急告知病院として、周辺地域の救急医療の責任をも担っています。また、チーム医療の発展と充実にも熱心に取り組んでいて、腎不全や循環器の疾患に対して、多職種のスタッフが連携を密にとり治療にあたっています。特に入院患者さんに最良の栄養療法を提供するNSTでは、看護師、薬剤師、栄養士の外に、医師が直接加わって指導することで、患者さんの病状を正確に把握することに努めています。

さらには県南部の分娩施設が減少する中、地域の産科診療の核として産科医療に貢献したことへの評価から「産科医療厚生労働大臣表彰」を受賞しています。こうした地域医療に携われるのも、その地域のかかりつけ医師の協力があるからだそうです。阿南共栄病院は今後も「病院－病院」間、「病院－診療科」間の連携の強化に力を注ぎます。

■ 地域に完結できる医療

周辺地域では、医師が不足している反面、高齢化による複数の疾病を抱えた患者さんが増加しています。このため、医療の研修へスタッフを送り出したり、徳島大学の学生実習を受け入れるなどして、総合的な治療ができる病院としての医師の育成に励んでいるとのことでした。

また、地域だけでは対応しきれない事態も生じています。このため、阿南共栄病院と徳島大学病院は協力病院として密接な関係を保ち、病状に応じてそれぞれの患者さんを互いに紹介するといった医療連携を行っています。

最後に、東副院長は「阿南医師会中央病院と合併することにより、救急医療を含んだ365日24時間体制で広範囲の治療が可能となる。患者さんの生活する地域内で完治できる医療を目指し、周辺の病院との連携もますます深めていきたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



■ 問い合わせ
JA徳島厚生連
阿南共栄病院
阿南市羽ノ浦町
中庄蔵ノホケ36
Tel.0884-44-3131

■ 説明は、
東 博之 / 副院長(真ん中)
(あずま ひろゆき)
高橋 秀夫 / 内科部長(右)
(たかはし ひでお)
館 美加 / 師長(左)
(やかた みか)